

令和6年度

Bring up 児童発達支援

従業者アンケート集計結果

【Bring up ちば子ども発達センター】

【Bring up みどり子ども発達センター】

【Bring up もりのみ幼児教室】



Bring up

【Bringupちば子ども発達センター】

《児童発達支援》従業者アンケート集計結果

1. アンケート配布数・回収数・回収率

配布数	18	回収数	16	回収率	89%
-----	----	-----	----	-----	-----

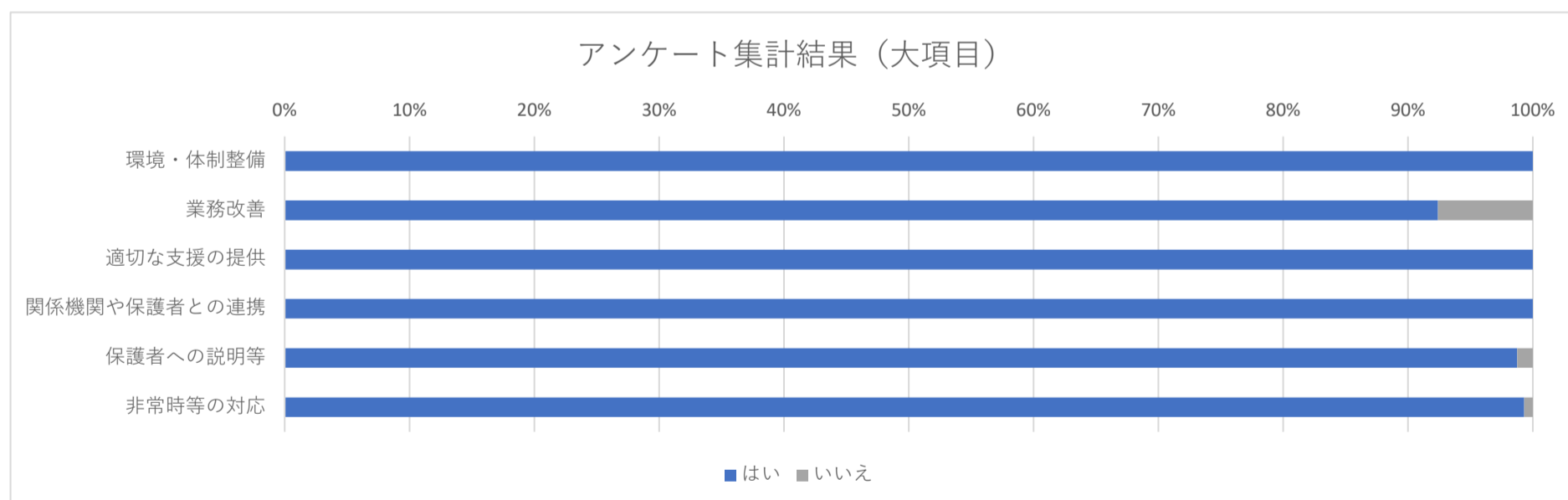
2. アンケート集計結果(大項目・小項目)

大項目	小項目	回答数			回答割合	
		はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16	0	16	100%	0%
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16	0	16	100%	0%
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	0	16	100%	0%
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	0	16	100%	0%
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16	0	16	100%	0%
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	0	16	100%	0%
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	16	100%	0%
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	16	100%	0%
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	6	15	60%	40%
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	16	100%	0%
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0	16	100%	0%
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0	16	100%	0%
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16	0	16	100%	0%
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0	16	100%	0%
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16	0	16	100%	0%
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0	16	100%	0%
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	16	100%	0%
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	16	100%	0%
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16	0	16	100%	0%
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	0	16	100%	0%
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16	0	16	100%	0%
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	16	100%	0%
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0	16	100%	0%
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	0	16	100%	0%
	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	0	16	100%	0%
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	16	100%	0%
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	16	0	16	100%	0%
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	16	0	16	100%	0%
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	16	0	16	100%	0%
	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	16	0	16	100%	0%
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	16	0	16	100%	0%
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	16	100%	0%
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0	16	100%	0%
運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	16	100%	0%	

保護者への説明等	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0	16	100%	0%
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0	16	100%	0%
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0	16	100%	0%
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1	16	94%	6%
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	16	100%	0%
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	16	100%	0%
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	16	100%	0%
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	16	100%	0%
非常時等の対応	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	1	16	94%	6%
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1	16	94%	6%
	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	16	100%	0%
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	16	0	16	100%	0%
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	16	100%	0%
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	0	16	100%	0%
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16	0	16	100%	0%
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0	16	100%	0%
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	16	100%	0%
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0	16	100%	0%

3. アンケート集計結果（大項目）

大項目	回答数			回答割合	
	はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	80	0	80	100%	0%
業務改善	73	6	79	92%	8%
適切な支援の提供	208	0	208	100%	0%
関係機関や保護者との連携	160	0	160	100%	0%
保護者への説明等	158	2	160	99%	1%
非常時等の対応	143	1	144	99%	1%



4. 自己分析

子どもたちに柔軟な支援を提供し、職員間で情報共有を行っていることについては従業員としてもできているとの評価となりました。広い遊び場や視覚支援を活用し、個別対応を強化していることで柔軟な支援ができているという意見もありました。業務改善には定期的な研修やケースカンファレンスを実施し、職員のスキルアップを支援していることを事業所の強みとしてとらえている職員が多数おりました。毎月、保護者や子どもの意見を取り入れた活動計画を立て、感覚プロフィールに基づいた支援を行っています。今後も、アセスメントツールを導入し、特性に応じたプログラム作成を進め、柔軟でお子様一人ひとりにあった支援が提供できるよう運営をしてまいります。一方で、外部評価結果の共有やマニュアルの周知が不十分と回答した職員がおりました。これらを改善するため、評価結果やマニュアルを定期的に保護者に提供し、理解を深めていけるようにします。

強みを高め、改善に取り組むことで、より信頼される運営を目指します。

児童発達支援管理責任者 小山恵美子

【Bringupみどり子ども発達センター】

《児童発達支援》従業者アンケート集計結果

1. アンケート配布数・回収数・回収率

配布数	18	回収数	13	回収率	72%
-----	----	-----	----	-----	-----

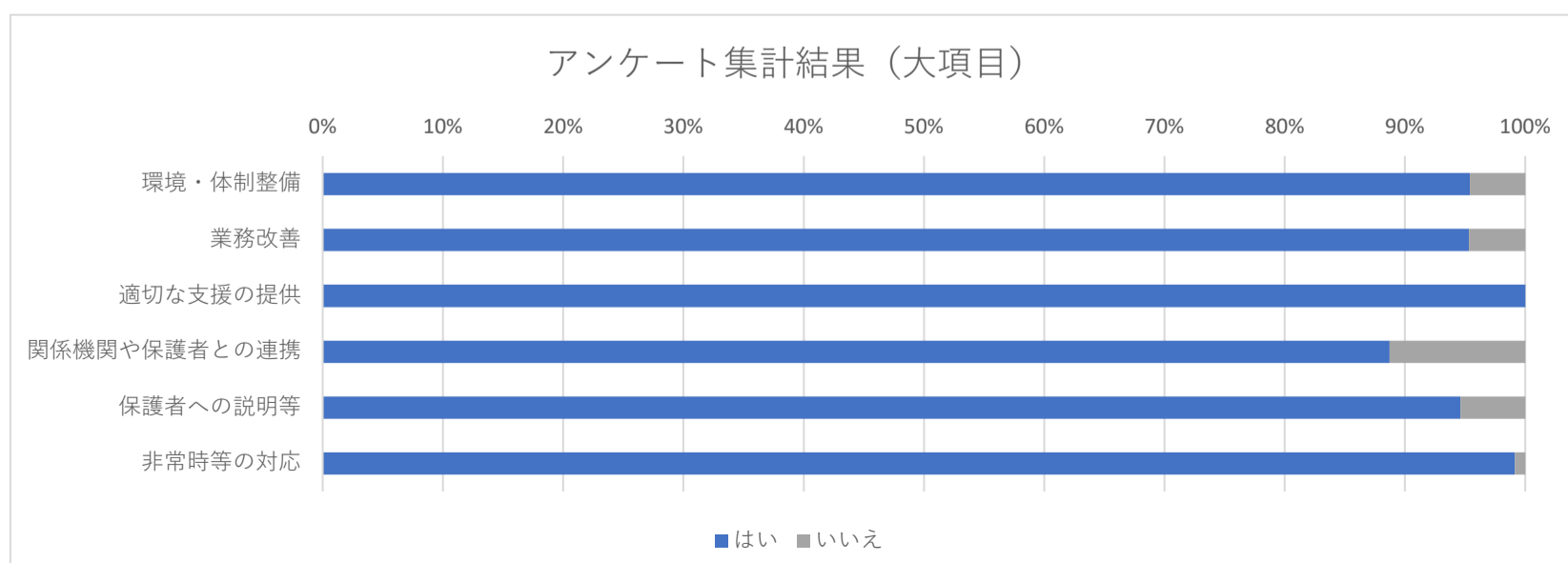
2. アンケート集計結果(大項目・小項目)

大項目	小項目	回答数			回答割合	
		はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	13	92%	8%
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	13	100%	0%
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	13	85%	15%
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	13	100%	0%
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	13	100%	0%
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	2	13	85%	15%
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	0	12	100%	0%
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	13	100%	0%
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1	13	92%	8%
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	13	100%	0%
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	13	100%	0%
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	13	100%	0%
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	13	100%	0%
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	13	100%	0%
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	13	100%	0%
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	13	100%	0%
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0	13	100%	0%
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	13	100%	0%
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	13	100%	0%
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	13	100%	0%
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	13	100%	0%
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	13	100%	0%
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	13	100%	0%
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0	13	100%	0%
	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0	13	100%	0%
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	13	100%	0%
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12	1	13	92%	8%
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	0	11	100%	0%
	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0	11	100%	0%
	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	2	11	82%	18%

175	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	11			
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	13	100%	0%
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	13	100%	0%
保護者への説明等	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	13	100%	0%
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0	13	100%	0%
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	13	100%	0%
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	13	100%	0%
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	3	13	77%	23%
	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	13	100%	0%
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0	13	100%	0%
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	13	100%	0%
	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	13	100%	0%
	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	4	13	69%	31%
非常時等の対応	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	13	100%	0%
	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	13	100%	0%
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13	0	13	100%	0%
	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1	13	92%	8%
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0	13	100%	0%
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0	13	100%	0%
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	13	100%	0%
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	13	100%	0%
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	0	13	100%	0%	

3. アンケート集計結果(大項目)

大項目	回答数			回答割合	
	はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	62	3	65	95%	5%
業務改善	61	3	64	95%	5%
適切な支援の提供	169	0	169	100%	0%
関係機関や保護者との連携	110	14	124	89%	11%
保護者への説明等	123	7	130	95%	5%
非常時等の対応	116	1	117	99%	1%



4. 自己分析

◆地域での他のお子様と活動する機会については、サービスの性質上困難だったため今年度実施機会を作れませんでした。来年度以降、近隣の幼稚園の園庭開放の際に、交流を持つ機会を設けていくことも検討しております。新しい活動となりますので、お子様の不安や負担に配慮しながら、よりよい機会となるよう、進めていきたいと考えております。

◆今年度、新しい施設を移転しました。お子様の安全面を第一に考え、より良い支援を提供していけるよう、施設内のスペースや居室の使い方、遊具の設置の仕方を工夫してまいりました。

今後もお子様の安心安全を最優先に、皆様により支援を提供していけるよう、さらなる改善と向上に努めてまいります。

児童発達支援管理責任者 本間 弥生

1. アンケート配布数・回収数・回収率

配布数	6	回収数	6	回収率	100%
-----	---	-----	---	-----	------

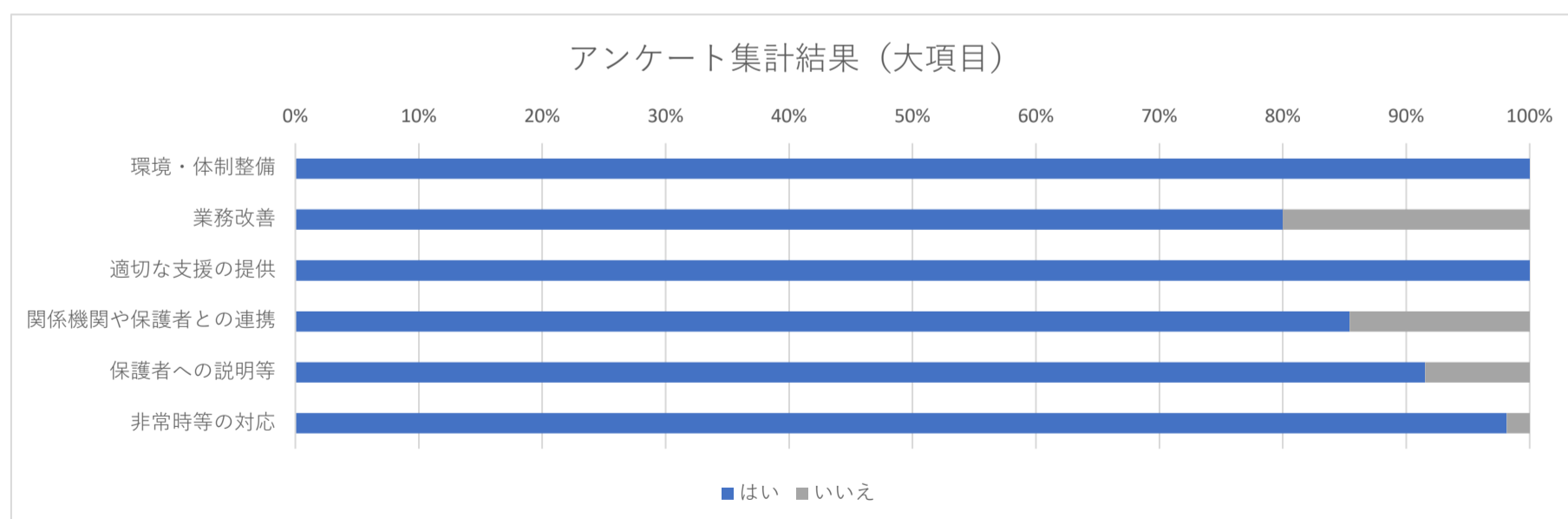
2. アンケート集計結果(大項目・小項目)

大項目	小項目	回答数			回答割合	
		はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	6	100%	0%
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	6	100%	0%
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	6	100%	0%
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	6	100%	0%
	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	6	100%	0%
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	6	100%	0%
	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6	100%	0%
	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	6	100%	0%
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	6	0%	100%
	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	6	100%	0%
適切な支援の提供	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	6	100%	0%
	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	6	100%	0%
	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	6	100%	0%
	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	6	100%	0%
	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	6	100%	0%
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	6	100%	0%
	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	6	100%	0%
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	6	100%	0%
	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	6	100%	0%
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	6	100%	0%
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	6	100%	0%
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	6	100%	0%
	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	6	100%	0%
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	6	100%	0%
	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	6	100%	0%
	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	6	100%	0%
	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	6	83%	17%
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0	6	100%	0%
	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6			
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	6	100%	0%

保護者への説明等	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	6	100%	0%
	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	6	100%	0%
	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	6	100%	0%
	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	6	100%	0%
	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	6	100%	0%
	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	6	100%	0%
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	6	100%	0%
	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	6	100%	0%
	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	6	100%	0%
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	5	100%	0%
非常時等の対応	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	6	17%	83%
	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	6	100%	0%
	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	6	100%	0%
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	6	100%	0%
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	6	100%	0%
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	6	100%	0%
	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	6	83%	17%
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	6	100%	0%
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	6	100%	0%
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	6	100%	0%

3. アンケート集計結果(大項目)

大項目	回答数			回答割合	
	はい	いいえ	合計	はい	いいえ
環境・体制整備	30	0	30	100%	0%
業務改善	24	6	30	80%	20%
適切な支援の提供	78	0	78	100%	0%
関係機関や保護者との連携	41	7	48	85%	15%
保護者への説明等	54	5	59	92%	8%
非常時等の対応	53	1	54	98%	2%



4. 自己分析

環境・体制整備、業務改善、および適切な支援の提供の大項目につきましては、ほとんどの項目で「はい」と回答がされていますが、まだ改善の余地は残されていると受け止めております。過信にならぬよう、ご利用者様にとってより良い事業所を目指して努めてまいります。

また、関係機関との連携、地域に開かれた事業運営、安全計画の周知など、職員間での認識のばらつきが見られた項目も散見されました。事業所としての取り組みを職員間で共有しながら日々の業務に努めてまいります。

